



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける中

七中だより



第 8 号

中野区立第七中学校《学校だより》

令和2年8月3日

TEL 03-3389-4171

オンライン学習を調査する

校長 池田 俊一

今年、4月5月は登校ができず、各家庭で学習を進められるオンライン学習が提唱されました。本校では、各教科の先生方が撮影を実施し、学習できるコンテンツ(中身)を「中野区立第七中学校のブログ」に掲載し利用できる用意をしました。今回コンテンツの利用を含め、生徒たちの「オンライン学習事情」を調査してみました。

Q1 勉強の手段として、インターネットを使ったオンライン学習を利用しますか？

A1 「よくする」「ときどき」「たまに」の三つの合計は1年=57%、2年=71%、3年=71% と数値がでました。今後はインターネットを使った学習のバリエーションが沢山生み出されていきます。是非興味をもち、この数字が上がって行くように生徒の一人一人がアクセスをごく普通のこととして欲しています。

Q2 七中が配信したコンテンツを何種類くらい見ましたか？

A2 こちらは、1~3年まとめたの数値として「1~5種類」「6~10種類」の両方で87%とでました。学年ごとのコンテンツの7割ほどを見ていることとなります。

Q3 コンテンツを主に何を使って見ましたか？

A1 「自分のスマートフォン」=51%、「自宅のパソコン」=27%が数値の高い二つです。中学生の8割はスマートフォンを持っていると言われてます学校で制作されたものに限らず広くコンテンツに

アクセスし学習できる環境は整ってきたなという感があります。中野区で進めているオンライン学活や授業の参加ができるところまで整備が整うのもうすぐです。

Q4 コンテンツを見て、勉強に役立ちましたか？

A4 「とても役に立った」=18%、「まあまあ役に立った」=61%、両方合わせれば80%です。今回の調査では、全く見ていない生徒も13%と数値が出ているなかですから生徒の刺激になっている事は大変嬉しい事だと思います。

Q5 コンテンツの長さは何分ならば集中して見られますか？

A5 「10分」=36%、「20分」=25%の数値が高いことが分かりました。丁度良いのは15分程度といえそうですが、「50分」=7, 5%とかなりの集中力のある生徒もいるようで、頼もしい限りです。

文中にも触れましたが、生徒全員に何らかの通信手段が行き渡り、情報交換、学活、学習等が自宅にいても可能なネットワークの整備完了がそこまでやってきました。しかしこれはツールの一つです。このシステムを使いこなす事がこれからの課題となるでしょう。また、今後、新しい事に付随する課題も出てくると考えられます。現段階では想定できないものを、想定しようとする事が求められていくと考えられます。そのときに冷静な判断ができるよう何が大切なか芯をもっていたいものです。

